

卷五 鞍馬

此後書也
 一
 みるら池のつらさあはつておとせりよまを
 とおあれんる二乃ぞあはつてりあらしや
 あはつてりよまのつらさあはつてりあらしや
 うてりよまのつらさあはつてりあらしや
 ておまへつらさあはつてりあらしや
 人のうんづもつらさあはつてりあらしや
 あひつらさあはつてりあらしや
 あつらさあはつてりあらしや
 つらさあはつてりあらしや

京都府立総合資料館蔵

かならふはつてつらさあはつてりあらしや
 せんらん張めんらまは利属ひつらさあはつてりあらしや
 といつらさあはつてりあらしや
 ねらさあはつてりあらしや
 神ありといつらさあはつてりあらしや
 せらさあはつてりあらしや
 めりんとねりあつてりあらしや
 わり。それ白のつらさあはつてりあらしや
 とあつらさあはつてりあらしや
 ぶあつてりあらしや
 まり。侍を人ゆえつらさあはつてりあらしや
 とさつてりあらしや
 あやらん天の侍とつらさあはつてりあらしや
 いつらさあはつてりあらしや
 つらさあはつてりあらしや
 つらさあはつてりあらしや
 つらさあはつてりあらしや
 つらさあはつてりあらしや
 つらさあはつてりあらしや
 つらさあはつてりあらしや
 つらさあはつてりあらしや

京都府立総合資料館蔵



京都府立综合资料馆藏

卷五 鞍马

顺着深泥池和市原等地一路前行便是鞍马。在降下的畚中放钱来买燧石的鞍马地方的“畚下”这一习俗真的是饶有兴致。本以为畚下只有在新年的第一个寅日或第二个寅日才会进行，但其实不管什么时候，只要和当地有关系的人说好，就会进行畚下来给去参拜鞍马的人看。从那里再顺着蜿蜒曲折的山路攀登，就来到了神佛的面前。

鞍马寺本是由藤原伊势人所建。藤原伊势人一直希望安放观音菩萨的佛像来进行供奉，所以一直留意找寻适合的土地。有一天晚他梦见京都北方的山上出现了一位白发的老者。那位老者说：“这块土地是世上难得的宝地，山的形状和三钻相似，而且总是笼罩着五色祥云。如果你在这里建立观音像，那一定会灵验无比。”藤原伊势人在梦中问道：“这位老者是何方神圣？”老者回答说：“我是镇守京都的贵船明神。”藤原伊势人从梦中醒来，却不知道梦里出现的那座山在什么地方，他想怎样才能找到梦里见到的那座山。藤原伊势人总是骑一匹白马。他想：“白马本来就是有神力的家畜，它是否知道我在梦中见到的那个地方？”于是他给马配上华丽的马鞍放了出去，想看看马会在什么地方停下来。最后，马在这座山里停了下来，山的形状和藤原伊势人在梦中看到的一般无二。

在马停下来的地方，已经供奉有一座毗沙门天王的塑像。这时老者又在梦中告诉藤原伊势人：“观音菩萨和毗沙门天王虽然名字不同，但却本是同一位神佛。”于是那个地方被命名为鞍马寺，并另建了一座佛堂，把观音像安放在了那里，也就是现在寺院西边的观音院。

别抱怨折花，在鞍马山这个赏花的好去处。

（翻译：张凌志）
（监修：小松谦·林香奈）

【現代語訳】

鞍馬

みぞろ池や市原などを通って行きますが、「畚降ろし」というのはまことに興味深いものです。初寅や二の寅の日などだけにあることかと思っていましたが、いつであっても、その地の縁故のある者に言えば、「畚降ろし」をして詣でる人に見せてくれるのです。そこから八町七曲がりの山道を登り、御仏の前に参りました。

そもそも鞍馬寺は、藤原伊勢人が建立したのです。日頃観音菩薩を安置して供養しようと念願し、どこかふさわしい土地を探して手に入れようと心に掛けていたところ、ある夜の夢に、都の北方の山に白髪の老人が現れました。その老人が言うには、この地は天下の内にも勝れている、山は三鉢の形に似ていて、常に五色の雲が立ち上っている。お前がここに観音を安置するならば、その靈験は限りなくあたたかであろう、と言うのです。伊勢人が夢の中で尋ねて言うには、ご老人はどなたですか、と。老人が答えて言うには、都の鎮守である貴船明神である、と言うのです。伊勢人は夢から覚めましたが、夢の中の山がどこにあるかわかりません。どうやったら夢に見た場所の山がわかるだろうかと思っていたのですが、伊勢人にはいつも乗っている白馬がいました。そもそも白馬は霊力を持った家畜です。そこで、お前は私の夢に見た場所を知っているだろうと、鞍を飾り立てて白馬を解き放って行かせ、その留まった場所を見定めようと考えたところ、その馬がこの山に留まったのです。伊勢人が夢に見た有様と少しも違ったところのない形でした。

その馬の留まった所では、すでに毘沙門天の像を得ていて、それを安置されていました。いわゆる観音と多聞天（毘沙門天）とは名前が変わるが一体のものであると、また夢のお告げがありました。そこでその地を鞍馬寺と言うのです。また別に一つのお堂を建てて、観音の像もそこに安置されたのです。現在、寺の西にある観音院というのがそれなのです。

折る花に文句を言うものではないよ、鞍馬山で。

(山崎福之)